



2001 B-P 祭での大なわとび (厚狭寝太郎公園：関連記事3面)

百万一心

題字は、毛利三十二代毛利元道氏書

第 28 号

発行

平成13年 6 月17日

山口市神田町 1-80

防長青年会館

ボーイスカウト山口県連盟

TEL 083-928-0079

FAX 083-923-8623



楽しいキャンプ料理

第2地区地区委員長 磯部勝由



私をボーイ
スカウト運動
に引き込んだ
最大の魅力は
キャンプ料理
でした。
多さやその保存法の進化、また燃
料もマキからガソリン、ガスの時
代へと変遷し、炊事用具もますます
使いやすくなってきました。
このため、従来は調理が簡単で
保存性、移動性などが重視されて
いたキャンプ料理にも少しずつで
すが変化が見られるようになって
きました。

今から45年前、中学生当時、学
校のグラウンドでテントを張り、飯
盒で炊いたご飯とタクワン！ち
よつと贅沢に牛肉（中身は鯨？）
の缶詰！これが楽しくて今日ま
でスカウト運動を続けてこられた
と思っています。
この料理集ではこれまでの常識
を破るレシピもたくさん掲載して
おりますのでキャンプだけでなく
家庭においても、このキャンプ料
理に挑戦してみてください。

キャンプ料理の楽しさを皆様に
知ってもらいたい。あなたもキャ
ンプ料理の達人になれる。
こんな思いから昨年「楽しいキ
ャンプ料理集」をプログラム委員
会を通じ、山口県連盟から発刊さ
せていただきました。幸いにも全
国から注文が相次ぎ約一千部に達
し、私は今、ほっとしているところ
です。
また、皆様方には、是非料理大
好き人間（スカウト）になっ
てください。そして、料理を作る楽し
さだけでなく、人に食べていただ
き、喜んでいただく楽しさを感じ
てください。

キャンプ料理の一つの原点であ
るアメリカのカウボーイたちの食
生活と比べますと、今日、食材の
ここまですべて「もてなし」
の心があなたに宿り、料理を出す
タイミングや盛りつけ、テーブル
の飾り付けに至るまで真心のこも
った料理の達人に近づけるものと
期待しています。

カブ隊一泊旅行リレー記

岩国第1団

・松野泰士

ぼくは3月24・25日に初めて親のいない旅行へ行きました。

不安と一緒に乗り込んだバスでは伯方島のガイド役がまっぴりしました。どきどきしたけどうまくできました。

・樋口寿

僕たちは、バスをおりて多々羅大橋を歩いて渡りました。来島海峡は3つの橋がつながっていると言ったこと



が実際に橋を渡ってみて初めて分かりました。新発見でした。

・平田啓一

愛媛総合博物館のプラネタリウムを見ました。これが今は世界一なのかと思いました。続いて博物館を見学しているときにもすごく大きな地震(芸予地震)がありました。

・阿部りょう

後で聞いてみると震度5

だったのでビックリ、でも、ぼくはあわてませんでした。ただ兄ちゃんがマイクに向かって大

声を出したのと同時だったので兄ちゃんがゆらせたのかと思いました。みくんな無事だったけど、地震のおかげでユースホステルに着くのが遅れました。

・矢野友寛

僕たち1組は104号室でした。そして、夕ご飯は食べきれないんじゃないかと思うくらい多量しかもともおもしろかった。

お風呂にいつてみたら大きなお風呂で、おまけにおもちゃまでありました。次の日の朝ご飯も再び豪華。阿部君と競争すると79秒差で負けてしまいました。

・すえたけちさと

鷺羽山ハイランドは雨だったのが残念だったけど、ローター

由布岳登山

田布施第1団BS隊 森重雄太

テスト期間中というのに、今回の遠征へ参加した。今までにない企画であった為、少々抵抗があったが、今回は登山を目的に来たわけで天候も良く登山が出来たので、その点は良かったと思う。由布岳に登頂しての感想であるが、最初が緩く、頂上付近が急、という個人的には非常に登りにくい山であったが、大山よりは良かった。大山は階段ばかりで非常に辛かった。

頂上の気温は12度。結構暑かったが風も多少あったため涼しく感じられた。下りはとても速く、あれよあれよという感じに下山していった。

テスト期間中の忙しい時に来たかいたがあった、というわけではないが貴重ないい経験になったと思う。



==由布岳頂上で達成感にひたる==

13Nニュース

名称：日本連盟創立80周年記念
第13回日本ジャンボリー(国際キャンプ)
会期：平成14年8月3日～8月7日
会場：大阪市舞洲スポーツアイランド
テーマ：『新しい時代の風を受けて』
～とびだそう 人と文化の森へ～
参加者：2万人サブキャンプ：9SC
* 近くにはユニバーサルジャパンや海遊館などがあります。

ウェーとチェーリントンタワーが楽しかったです。どっちとも空を飛んでみるみたいで少し怖かったけどおすすめの乗り物でした。

・岩崎利彦

みんなでにじ色のスケートをやりました。ぼくは、真ん中に休憩場があったので何回も休みました。

・森重翔也

帰りのバスの中ではドラえもんビデオを見ました。岩国に着いてみると、当たり前だけとお母さんは地震があったことでも心配していたみたいでした。帰ってきて、家はやっぱりいいなと思いました。

寝たろう公園でB・P祭

美祢 山陽・小野田・宇部

厚狭川の河川敷「寝たろう公園」にて美祢・山陽・小野田・宇部の旧4地区によるB・P祭が2月14日開催された。「寝たろう公園」は厚狭川を挟んで五つの公園で出来ており「わらじ公園」「千石船の公園」「桶おけの公園」「砂金の公園」それと「ゆめ広場」。9時30分に厚狭小学校グラウンドをスタートしたスカウトたち、まずは佐渡島までの迷路地図を解いてわらじを受け取り、千石船の錨いかりに仕立てたペットボトル吊上げゲームに挑戦、砂金の公園では指導者ふんする悪代官あくせんのんの難問、ロープワークに悪戦苦闘していたが見事全員クリアし通行手形を手に入れた。

ゴールのゆめ広場では砂金糖ならぬ黄金糖をこぼすびにもらい、冷えた体を温かいうどんうどんで暖めた楽しい1日でした。

「悪代官なんて へっちゃらだい」



春爛漫？の団行事

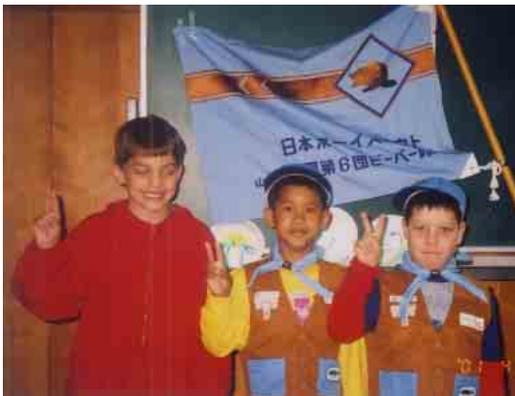
宇部第15団



も少し手前でワイワイやってその気になつて15団。：と云うことで今年も今年も団ラリ。厚狭郡桶町の今富ダム周辺でスカウトとその兄弟・保護者、それにキツネやタヌキやウサギも参加しての（そんなわけないだろ）大ゲーム大会。今富ダムぐるつと4.1キロに計量ゲームや木の高さ当てゲーム、宝探しゲーム等々。ゲーム三昧の後はお決まりの豚汁まんじゅうで満腹になり最高に盛り上がった（ような気がした）1日でした。

新しい仲間です

岩国第6団 ビーバー隊



岩国6団ビーバー隊に3人のアメリカのお友達が入隊しました。岩国基地内にも隊はありますが「在日中は日本の隊で活動させたい。」という保護者の希望もあって入隊。3人とも好奇心旺盛で元気いっぱいです。一番気がかりな「日本語」はとても達者で、保護者と指導者との通訳もおまかせで隊指導者も助かっています。

3人ともペリースクールの1年生です。

(左から、タイラー・ノベル君、

トニー・ケンプ君、アロー・ティラー君)

男所帯のB・P祭

光第2団・第3団

2月18日、光2団・3団のB・P祭が開催されました。参加スカウトはビーバーからボーイで55名でした。前回より我が団は父兄の参加（見学）を抜きにした男だけの・スカウトだけの厳きびしい（？）活動を目指し実行委員が一丸となって取り組んでいます。内容は（それこそ）縦割りの混合8班を作り関所ハイクを賑々しく行いました。

ビーバースカウトから見ると、ボーイのお兄さん達は一体どのように写つたのでしょうか？

折角、同じ地域に住んでいるのですからこの機会に顔を知り仲良くして欲しいものです。



「気持ち」一つにして！

オープン集会開催!

萩第5団

4月29日(日)萩市指月小浜キャンプ場を会場に、「皆集まれオープン集会」と題された集いがありました。

参加者は、リーダー、スカウト及び一般からの参加者も含めて約100名もの人が、小雨が降るあいにくの天気の中、午前中はテント設置、午後からはロープワーク等のスカウト活動を行

い、また一般の方には体験して頂きました。

昼食は、はんごうを使ってご飯を炊き、焦げめの全くない非常に美味しいご飯だったとのことです。(ボーイ隊長長談)

メインディッシュは「鳥の炭火焼き」! 美味しい昼食でした。最後に参加者みんなで使ったキャンプ場のゴミを拾って終了! またみんなでやるうと話しながら、きれいになったキャンプ場をあとにした。

参加者はスカウト・指導者・保護者合わせて百十名。

午前中は、個人ゲームやチームに分かれて長縄跳び大会など楽しんだ。長縄跳び大会では、初めて出会った友だちと息を合わせて上手に跳んでいた。

午後からは、チームに分かれて約4kmのスタンプラリー。

四箇所の関所をクリアした後3年前に復元された茶臼山古墳に到着。

茶臼山古墳には埴輪などが復元されており、スカウトたちは興味深そうに見学していた。

また、柳井市教育委員会の方

第1地区カブ・ビバラーリ開催

「21世紀(過去から未来)へはばたく友情の輪」



晴天に恵まれた5月13日(日)柳井火力発電所グラウンドをメイン会場に第1地区カブ・ビバラーリが開催された。



「古墳って小さな山みたいだね」

より説明を受け、古代の世界にタイムスリップしたように感じたスカウトもいたようだ。

選手たちは、大会に向けて練習した結果を充分に発揮し、上位入賞を果たしました。2月の空気の中を、気持ちいい汗かきました。

参加競争に伝二

岩国暁団

2月18日(日)に岩国東地区三二駅伝に小学生男子2チーム、中学生男子1チーム、育成会2チームが参加、選手以外の隊員は交通整理に奉仕しました。



スタートは緊張しました。「しっかり走れてよかった」

BP祭でウォークラリー

岩国暁団

2月11日(日)横山地区吉川公園一帯で岩国暁団のビバラーリがベンチャー隊までのスカウトがベーデンパウエルの誕生日をお祝いしました。城山にはスカウトたちの歌声やゲームに興ずる声が響き渡りました。



ボールが当たって転んじゃった

第8回救急法講習会

中部地区

2月4日防府市サイクリングターミナルに於いて、第8回救急法講習会(蘇生法課程)が、倉重中部地区健康安全委員長を主任講師に行われた。

受講生10名は、人工呼吸や心臓マッサージの実技指導に悪戦苦闘しながらも最終的には合格点に達し満足げであった。



アットホームな講習会の様子
(講師は友田副コミッショナー)

第108回指導者講習会

中部地区

4月8日に受講者7名で防府市右田福祉センターで第108回指導者講習会が開催された。

今回は受講者少数の為、きめ細かく家庭的な雰囲気の中で大変和やかなうちに全課程を修了することができた。

終了後に聞いた受講者たちの感想は、講師陣の経験豊かな実例を織り込んだ講義に感動し納得できたと好評であった。

受講修了者たちは、これを機にそれぞれの分野での新たな挑戦を誓った。



ペースを確認しながら心肺蘇生実習

第1回定型外訓練・技能研修会

「春の野営・楽しく学ぶ」



楽しく過ごす野営の基本・テントの設営方法体験

交換もありとても充実していました。
今回は遠くからの参加者が多く熱意に感謝します。テーマを見て「知つちよる」とか、「解つちよる」又、遠方だからと言わず「チヨット」参加してみませんか。今後、指導者や参加者のニーズに応じた楽しい集いの会にしたいと思えます。
全参加者の皆さんありがとうございました。

(主任講師 清綱秀信 記)

平成13年度第1回定型外訓練が5月5日～6日のゴールデンウィーク後半に小野田第1団隊舎で開催された。
今回のテーマは「春の野営・楽しく学ぶ」を掲げ、進級や技能向上そしてプログラム活動のヒント等を、参加者全員が「体験して学ぶ」定型外短時間のプログラムの中で行われた。
今回学んだ手法、展開方法等を現隊で十分に活用していただけたら...と思えます。

休憩時には他団の人との意見



三角巾の正しい？ 使用方法

きらめく未来へ 輝けスカウト！ 第1回山口ベンチャー大会

君たちのステージ・自然の中で 友と語り、友と楽しもう！

会期 2001.8.18(土)～21(火)

主会場 徳山市ふれあいの森

- 場外活動地
- ① 下松市笠戸島
 - ② 光市室積海岸
 - ③ 徳山市菅野湖・川上ダム
 - ④ 徳山市徳山湾
 - ⑤ 徳山市須々万市有林

チャレンジ (選択プログラム)

- ① ウエイクボード
- ② シーカヤック
- ③ 船釣り
- ④ ルアーフィッシング
- ⑤ 木工とタッチオープン料理
- ⑥ バードウォッチング

さらに さらに

スカウトナイト(ディナーパーティー)
ベンチャー交流会 でお楽しみ

参加費 ¥5,000+選択プロ個人負担金

・・・守ろう地球環境 楽しもう山口の自然・・・

「よつて立つところ」

宗教委員会 菅野慶全

「篝火はいいですね。真つ暗闇にあかかと燃えあがる火を見つめると神秘さの中にもおだやかな心になつてきます。」

さて、皆さんもよく知っている童謡や昔話というのは、私たちにとても大切なことを教えてくれます。例えば「カラスなぜ鳴くの」の「七つの子」。カラスとは石炭を掘る炭坑夫のお父さんをカラスに例えたもので、かわいい子供たちのためには真つ黒になつて働いてもかまわない親心を歌つたものです。

ところで話には、次のようなものがありました。それはウサギの話でウサギは冬になると食べ物がないのを知っていました。そこで、秋のうちからせつせと食べ物を集めていました。おかげでたくさん食べ物が集まりました。「よし、これだけあれば大丈夫だろう。」

だがひとつ心配なことがありました。それは冬になるとたくさん雪が降ること、どこに食べ物も隠したのかわからなくなることでした。「そうだ。目じるしがあればいいのだ。」ウサギは大空にうかぶ雲を目じるしにすることにしました。何しろ、どんな高さの木でもたちまち雪にうずもれてしまうからです。

「まさか、あそこまでは積もらないだろう。」ウサギはそう思ったのでした。

やがて、冬になりました。ウサギはさつそく隠していた食べ物を探しはじめました。ところが何としたことでしょうか。確かこのあたりだぞと思つても、目じるしにした雲は風に吹かれてどこかにとんでいつてしまひ、結局食べものを探すことはできなかつたのです。

さて、どうでしょう。これは何をいつているのかといえば、人間は何があれば生きていけるのか？つまり「よつて立つところ」ということでしょうか。お金か、愛情か、学歴かそれとも真理か。皆さんは何だと思いでしょうか？実は人間だからこそいきている意味を考へることは大切なことで、ある小学生は「お母さん人間はいつか死ぬのに、なぜ生きねばならないの？」とたずねたそうです。隊長はこの質問には、「人間は人間だけに出来ることをするために生きてるんだよ。」と答へたいと思ひます。わかりやすく言えば「恩がえし」ということで、だつてたくさんの人、たくさんのおかげで生きていられるのですから、そのお礼は忘れてはいけないと思ひます。生かしてくださる尊いお方のお名前……。そのお方こそ阿弥陀如来さま、そのお方であります。

名物リーダー紹介



萩第5団
カブ隊隊長
長岡繁雄さ
んを紹介し
ましょう。

現在51歳になられますが、50歳を越えた今でもスカウトと一緒に隊舎の周りを走り回る身の軽さ？ を見せておられます。（最近、大きくなってきたタヌキ腹を気にされて歩かれてはいるらしい。）
いつでも、笑顔でリーダー、スカウト達に大変慕われ、それ



結婚おめでとう
萩第5団BS副長福間勇司さんが4月28日
萩春日神社で挙式されました。

でいて間違ったことをした時には本気で叱ってくれる長岡隊長にパパの姿を思い浮かべるのは私だけでしょうか？

そんな長岡隊長ですが、料理の腕は抜群！団で餅つきをした時、金子隊長と二人でこだわりカレーを料理されていました。そのカレーの美味しいこと。

萩市の春日神社にある隊舎周辺で美味しいにおいがしてましたら一声掛けてみて下さい。美味しいにおいのもとをご馳走してさしあげることあるかも？
そんな時にははじけんばかりの笑顔で輪の真ん中に長岡隊長が立っておられるはずですよ。

広報委員のぼやき

私は仕事で4トトラックに乗っている。運転席は乗用車に比べて非常に高い位置にある為いろいろな事がよく見える。

朝、通学路を通るため徐行するのですが、親がよけないので子供がよけることもなくついクラクションを鳴らしてしまうことがある。

子は親を見習うのだから・・・



スカウトのための登山講座

登山家 宇部第15団 原山城峯

「食料計画 その2」

前回に続き食料計画のお話をします。

行動食

行動中にエネルギーを補給するための食料。ポケットに入れて歩きながら食べられるものを選びます。糖分の多い甘いもので、食べるときに飲料を必要としないものが良いでしょう。キヤンディやクッキー、一口ゼリー等が便利です。果物なども悪くありませんが、歩きながら食べるのでゴミ（皮や種）の処理に困るものは避けましょう。行動食はおやつとは違うので、混同しないようにしましょう。

登山では、朝昼の食事を腹いっぱい食べるのではなく、少なめにしてお腹が空いたときに行動食で補うようにするのが基本になります。

非常食

何らかの事情により、予定の日数で下山できなかつた場合の食料。当然のことながら、保存

性がよく軽いものを選びます。また、燃料が尽きていることも考えられるので、そのまま食べられるものにします。昔は乾パンや黒糖が主でしたが、最近では一般のスーパでもカロリー××といった便利な食品が入手できるようになりました。非常食は使用しないで持って帰るのが望ましいことを覚えておきましょう。

予備食

通常食が不足した場合に使用する食料。通常食は少なめにしておくのが基本ですが、どうしても足りない場合にはもう一品食べられるように用意しておきます。簡単に調理できるものがよく、いつ食べるかわからないので、軽くて保存がよいものを選びます。棒状のインスタントラーメン（棒ラーメン）や、ソーセージ、チーズなどが便利です。予備食は「おやつ」と考えてもよいでしょう。（大人の場
合には「つまみ」とも言う）
（次回は保存方法など）

スカウト君

作：おだゆきな



ボーイスカウト山口県連盟 平成13年度年次総会を開催

平成13年6月17日 柳井市・アクティブ柳井

平成13年度山口県連盟年次総会を、柳井市アクティブ柳井で平成13年6月17日(日)に開催。県連年次総会では、前年度事業報告・収支決算報告、新年度事業計画案・収支予算案等を審議。

また、議案審議に先立ちボーイスカウト運動に貢献された功績を讃えて県連盟表彰式及び日本連盟表彰伝達式を挙げる。

平成13年度に表彰・伝達されるのは次の方々及び団体。

【山口県連盟表彰】(以下敬称省略)

〔県連有功章〕

竹本博信(岩国1) 岡 正(岩国4) 川戸裕司(岩国4)
佐野正澄(下松1) 新谷満雄(下松1) 井納 清(下関6)
百田省二(下関6)

〔県連感謝章〕

須子利江(小野田1) 下川昭治(防府1) 井納和子(下関6)
渡邊文江(小野田1)

〔感謝状・特別の功労〕

河村重雄(下松5) 勝盛一子(宇部15) 株式会社藤永建設
森脇食料品店 日本製紙(株)岩国工場 毛利就因 関 昌利
原 信行 今治正明 (財)防府ライオンズクラブ
埴生地区社会福祉協議会 厚狭地区社会福祉協議会

〔褒 状〕

隊長・副長5年11名、同10年9名、同15年3名、同20年3名
デンリーダー補助者1名、スカウト10年16名

〔組織拡大顕彰〕

徳山第4団・下松第5団・防府第8団・宇部第11団・宇部第17団

【日本連盟表彰】

〔かっこう章〕

森 義勝(小野田1) 勝田 直(小野田1)

【お詫びと訂正】

第27号計報記事 永松氏の経歴紹介で昭和62年発団となっていました。正しくは昭和26年です。お詫びして訂正します。

あ と が き

現在、広報委員として新しくメンバーに入った私は、原稿に向かい頭を抱えております。以前より写真撮ることが好きであり、今も下手な写真を撮り続けています。広報委員も趣味の一つとして気楽な思いです。ていすし、趣味の写真を大いに活用していきたいとも考えています。加盟員の皆さんも気楽な気持ちで広報誌「百万一心」へ、情報などをどんどん送っていただきたいと思います。(N・N)

編集責任者：広報委員長 羽村特美
印刷所：藤田謄写堂
長門市東深川892-9 (0837)22-2369
スカウト活動のお問い合わせは

山口県連盟事務局 mailアドレス：bsymg@ymg.urban.ne.jp
山口県連盟HP http://www.ymg.urban.ne.jp/home/bsymg/